

横浜市立東高等学校の教職員及び生徒が インドの教職員とWEBで交流します



横浜市立東高等学校(*ユネスコスクール)では、年間を通じて、様々な取組を行い、ESD(持続可能な開発のための教育)を推進しています。

今回、文部科学省委託事業 令和3年度 新時代の教育のための国際協働プログラム(初等中等教職員国際交流事業)「インド教職員招へいプログラム」に応募し、受け入れ校として決定しました。

プログラムを通して、多様性への理解と尊重を育み、多様な文化が尊重される平和で持続可能な社会の実現を目指します。

※ユネスコスクール：ユネスコ憲章に示された理念を学校現場で実践するため、国際理解教育の実験的な試みを比較研究し、その調整をはかる共同体として発足しました。ユネスコスクールは、世界中の学校と交流し、生徒間・教師間で情報や体験を分かち合い、地球規模の諸問題に若者が対処できるような新しい教育内容や手法の開発、発展を目指しています。日本国内では、2018年10月現在、1,116校の幼稚園、小学校・中学校・高等学校及び教員養成系大学がユネスコスクールとして認定されています。東高校は平成30年7月にユネスコスクールに認定されました。

日程及びプログラム

【開催日】

令和3年12月14日(火)、15日(水)

【プログラム】

12月14日(火) 14:00~16:00

インド教職員と受け入れ校との交流1

- ・映像による学校・地域訪問
- ・インド教職員と東高等学校教職員の意見交換会

12月15日(水) 14:00~16:00

インド教職員と受け入れ校との交流2

- ・インド教職員と東高等学校生徒との交流会

【会場】横浜市立東高等学校
(鶴見区馬場3-5-1)



【インド教職員招へいプログラムとは】

日本とインドとの間の国際交流事業としては、2016年より「インド教職員招へいプログラム」が文部科学省、インド連邦政府教育省、インド環境教育センターの協力のもとで始まりました。

第6回となる今年度は、2021年12月12日(日)から19日(日)までの期間、複数回にわたってインドの初等中等教育教職員15名と、日本側の受け入れ校及び公募により集まった10名の日本の初等中等教育に携わる教職員を交えて、オンライン交流を実施します。

【文部科学省委託】

公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター
(ACCU: Asia-Pacific Cultural Centre for UNESCO)



なお、当日の取材については受け付けておりません。

お問合せ先

(内容について)	横浜市立東高等学校長	藤本 貴也	045-571-0851
(市立高校について)	教育委員会事務局高校教育課長	鍋山 英彦	045-671-3289